

## 第10回 ぷらっとカフェ（テーマ「青梅ならではの子どもの居場所の作り方」）

開催日時 平成27年7月24日（金）18時～

会 場 青梅市役所7階食堂

参加者数 31名

### 当日の流れ

18:00 挨拶

18:15 アイスブレイク

18:25 テーマについて、これまでのカフェからのヒントを提示

18:40 OST（オープンスペーステクノロジー、自由会議）テーマ出し

18:45 OSTについての説明、テーマ発表

19:10 興味のあるテーマについてテーブル毎に分かれて話し合い

20:00 休憩

20:15 発表

20:55 まとめ

21:00 終了

### ○OSTで話し合われたテーマ

1. 大人になるまでに危険な体験を使用～禁止事項を増やさないで～
2. 地域での子育ての取組み
3. 自然への関わり方を学ぶ
4. みんなでつながる！みんなとつながる！
5. そもそも子どもの居場所って・・・？
6. 青梅式養孫縁組
7. 自然とスペースを活かした居場所づくり

1. 大人になるまでに危険な体験をしよう～禁止事項を増やさないで～
  - ・お年寄り＝様々な体験をしてきた。現代＝責任問題から禁止事項多い
  - ・子供が自分で判断するチャンスも少なくなっている
  - ・青梅市は、自然が多く子供たちがのびのび遊べるはず  
→色々なことが禁止事項になってしまい試す機会がない。  
ex)かすみ川はフェンスを作って遊ばせない  
→やってみることが大事
  - ・自分自身で体験してもらうために。  
→大井戸公園などの公園の遊具を落ちても大丈夫な高さや何があっても落ちないブランコの設置
  - ・ある程度のけがを許す気持ちや大人が見守ることが禁止事項を減らすことにつながる。
2. 地域での子育ての取り組み
  - ・少子化により空き教室が増えている。  
→高齢者教室や子供、高齢者の交流の場として活用できないか
  - ・地域の核 = 学校
  - ・コミュニケーション力、世代をつなぐ地域力が必要  
→自治会だけでは難しいので、新しいコミュニティづくりが必要  
→すぐに多世代は難しいので、子育てに時間をかけ子供中心に新しいコミュニティを創る。
3. 自然への関わり方を学ぶ
  - ・子供には情報社会だけではなく、五感を使い自然を味わってほしい。  
ex)農作業体験、日常的な自然体験
  - ・危ないので自然と関わることで制限される。  
→遊びの中で自然を覚えるのである程度の危険を許すことが必要
  - ・親を巻き込んだ楽しい経験が大切
4. みんなでつながる!みんなとつながる!
  - ・楽しいから学ぶ  
ex)地域の祭囃子
  - ・祭囃子のような趣味と地域をつなげたい。  
→発表の場のためのイベントを創ることでつながるコミュニティ  
→コミュニティをつなげるため SNS の発信
  - ・手作りのイベントを創ることでみんなとつながる。

## 5. そもそも子供の居場所って・・・？

- ・家か学校だけが居場所、学区外では遊んではいけない、遊び場所が子供の居場所という考え  
→自由な時間も少ない
- ・様々なタイプの人がいるから様々なタイプの居場所があっても良い  
ex)親代わりの人がある居場所、意図的に作る居場所、共通の趣味の居場所
- ・市内の成木や新町などの様々な地域の人たちとのつながり  
→子供版広報おうめを発行し、子どもの様々な居場所を紹介

## 6. 青梅式養孫縁組

- ・民泊（青梅ではドイツボッパルト市との交流の中でも実施）  
→血縁以外のつながり  
→他の価値観に触れることで成長する
- ・民泊を活用し、高齢者と孫世代をつなぐ＝養孫縁組  
→ボッパルトの民泊のように多様な価値観を味わう  
→自治会等の橋渡しにより、近所とつながる
- ・申し込み方法、受入れ方法は行政との協力で工夫が必要

## 7. 自然とスペースを活かした居場所作り

- ・青梅の良いところ  
→自然(田んぼ、散歩道、空き地)、トレイルラン、カヌー、サイクリング等
- ・自然＝大人が癒される居場所＝子供も楽しい居場所
- ・空き地やスペースの活性化  
→残っている自然に楽しみをプラスする  
ex)カフェ、バー、マウンテンバイクのコース、レストラン